

## わたしす 私が好き、あなたが好き、学校が好き。 す このまちが好き

がっこう かてい ちいき きょうりょく あ きょういくりょく あいじょう だ あ  
学校・家庭・地域が協力し合い、教育力や愛情を出し合って、  
こどもたちを育みましょう。子どもたちの育ちを見守る人たち  
ちがつなりあうことがとても大事で、それができるのが  
じんけん 「人権のまちづくり」です。



## わたし じんけん 私たち「人権のまちづくり」の一員です

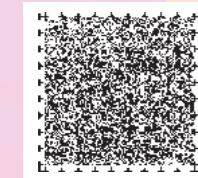
こどもたちの豊かな学びと育ちをめざして、地域にあるさまざま  
な問題と一緒に考え、共に学び合いましょう。そして、  
誰もが安心して暮らせる、一人ひとりの笑顔があふれる人権  
のまちづくりをすすめていきましょう。



久留米市内中学2年生の作品  
<2020年度人権作品集より>



久留米市内小学6年生の作品  
<2020年度人権作品集より>



## まな 学ぶことで、つながる

がっこう かてい ちいき まな おも ねが じぶん ことば  
学校・家庭・地域、それぞれの学びとともに、思いや願いを自分の言葉にして  
ひょうげん ひと ひと 表現することによって、人と人がつながります。

## びょう がくしゅう ハンセン病を学習して

くるめ しないしうがく ねんせい さくぶん  
久留米市内小学5年生の作文  
ねんどじんけんさくひんしゅう  
<2019年度人権作品集より>

びょうき 「どんな病気なんだろう。」わたしは、ハンセン病の名前をみて思いました。  
びょう なまえ おも  
みんなさんは、ハンセン病のことを知っていますか。ハンセン病とは、治る病気です。感染力  
よわ が弱く、「プロミン」という薬で治することができます。

がつ わたしは、4月に、ハンセン病のことについて学びました。まず、ハンセン病患者さんが受けた差別について調べました。どんな差別があったかというと、熊本県がハンセン病回復者の人たちを温泉ホテルに招待する計画をしたところ、ホテルが「ハンセン病回復者が泊まる」と、他の客が迷惑する。と言って、宿泊を拒否したという差別です。さらに、その後に、その差別に対してホテル側にこうぎしたハンセン病回復者に、一般人の人達から非難の電話や手紙、メールなどがたくさんきました。その中には、「お前たちは温泉に入るよりも、早く骨づぼに入れ。」とかかれたものもあったそうです。

しかし、たくさんの手紙の中にたった一人「私はハンセン病のことを正しく知りませんでした。私の考えが、まちがっていました。」という謝りの手紙をくれた方がいたそうです。わたしは、その事件のことを知って、みんな同じ人間なのに、宿泊を拒否されるのは、おかしいと思いました。また、謝りの手紙をくれた方は、自分のまちがいをみとめて謝ったのがいいと思いました。  
(中略)

がつ じっさい こくりつ びょうりょうよう じょきく ち けいふうえん い しりょうかん ほんもの さべつ て がみ  
9月に実際に国立ハンセン病療養所菊池恵楓園に行きました。資料館で本物の差別の手紙  
て がみ なまえ をみました。手紙には、名前がほとんどのていなくて、わたしは、とてもひきょうだと思いました。コンクリートの壁は、手をのばしてもとどかないくらいの高さがあり、その周りに木がたくさん植えられていて、少しも外が見えませんでした。へいの中にとじこめられているように  
かん 感じました。

じっさい げんち い かんじや いえ かえ おも わか  
実際に現地に行き、患者さんたちが家に帰りたいと思っていたのがよく分かりました。ハン  
セん病のことを正しく知って、差別をなくすことができるといいです。そのために、へい水フェ  
スでこのことを発表し、多くの人にハンセン病のことを知ってもらおうと思います。

